

銀行名	近畿大阪銀行
タイトル	エコノミクス甲子園地方大会事務局としての取組
取組み内容	日本の社会構造の変化に伴い、社会に羽ばたく高校生たちへの金融知力の普及がますます必要とされているなかで、受験との兼ね合いや金銭教育への抵抗感から、現場での金融経済教育は後回しにされがちな現状です。 そこで、高校生に金融経済を楽しみながら学んでもらうこと、テクニックではなく実生活に生かせる金融経済知識を基礎から学んでもらうことを目的として、2006年度より NPO 法人金融知力普及協会と金融経済クイズ選手権を開催し、大阪大会の事務局として取り組んでいます。   

銀行名	近畿大阪銀行	
タイトル	いずみの森環境ボランティアや交野市「近畿大阪銀行森づくり」等でのみどりの環境保全活動	
取組み内容	  	【いずみの森環境ボランティア】 「Re:Heart 倶楽部」の一環で「いずみの森環境ボランティア活動」を開催しました。 当活動は、従業員の社会貢献活動への参加機会を提供するため毎年開催 【近畿大阪銀行森づくり】 大阪府のアドプトフォレスト制度を活用し、交野市倉治において、「近畿大阪銀行の森づくり」を実施。環境ボランティアを募集し 68 名の参加。 環境に関する意識を高めていただくことができました。 【被災地植樹プロジェクト】 宮城県岩沼市の「千年希望の丘」にて、参加小中学校 7 校に育てていただいた苗木の植樹を行いました

銀行名	近畿大阪銀行
タイトル	子ども向け金融経済教育「リそなキッズマネーアカデミー」の開催について
取り組み内容	次世代育成のためのオリジナルのプログラムとして、金融や経済の知識を楽しみながら身につけることができる低学年から高学年を対象とした企画を展開しています。社員が講師を務め、各地域の地元企業や自治体とのコラボ企画が拡大しています。お金や銀行の仕事だけでなく子どもたちが楽しみながら社会の仕組みを学ぶことの出来る夏休みのイベントとして定着図れています。  

銀行名	近畿大阪銀行
タイトル	『大阪をもっともっと元気にしたい！チャリティーコンサート』 関西フィルハーモニー管弦楽団とのファンドレイジングコンサート共催
取組み内容	2011年2月2日、当社誕生10周年記念活動の一環で、地域文化の活性化のための地元の楽団である「関西フィルハーモニー管弦楽団」を共催しクラシックコンサートに気軽にお越しいただき、ファン層の拡大につなげることに主眼を置いています。また、多くの取引先を有する銀行の特性を活かし、通常大口スポンサーになれない中小企業、個人の取引先に働きかけ、文化支援事業の「場」を提供する方式 ファンドレイジング方式 により、地元文化の発展に貢献しています。  2011年2月2日、当社誕生10周年記念活動の一環で、地域文化の活性化のための地元の楽団である「関西フィルハーモニー管弦楽団」を共催しクラシックコンサートに気軽にお越しいただき、ファン層の拡大につなげることに主眼を置いています。また、多くの取引先を有する銀行の特性を活かし、通常大口スポンサーになれない中小企業、個人の取引先に働きかけ、文化支援事業の「場」を提供する方式 ファンドレイジング方式 により、地元文化の発展に貢献しています。

銀行名	池田泉州銀行															
タイトル	「事業性評価」に係る取組み															
取組み内容	「地元企業動向調査」による景況感等の調査を実施 年４回、営業店によるヒアリング形式にて、地元企業を対象に調査を実施。 < 前回調査の内容 > 対象先数：３０３ 先（製造業 １５７ 先、非製造業 １４６ 先） 調査項目： 自社の業況感（足許、先行き） 売上高の動向（足許、先行き） 営業利益の動向（足許、先行き） 生産、営業用設備の動向 資金需要 設備投資の動向 賃金の状況 雇用の状況 行員の目利き力向上への取組み 各種研修、臨店による指導を実施。 < 主な内容 > <table><tr><th>主な研修・臨店指導</th><th>対象者</th><th>講師・指導者</th></tr><tr><td>事業性評価にかかる勉強会</td><td>融資課長</td><td>地域経済活性化支援機構</td></tr><tr><td>事業性評価臨店</td><td>支店長、融資課長、 営業課長等</td><td>融資部</td></tr><tr><td>目利き力強化研修</td><td>法人営業担当</td><td>外部講師</td></tr><tr><td>経営支援ヒアリング（臨店）</td><td>支店長、融資課長、 融資担当</td><td>ソリューション部</td></tr></table> 「事業性評価シート」の作成 事業性評価を通して、取引先企業とコミュニケーションを図りながら、経営状況や経営課題、ニーズについて具体的に把握。 < 主な項目 > 当社の特徴、ビジネスモデル俯瞰図、業界特性、業界動向、同業他社比較、ＳＷＯＴ分析、今後のビジネスモデル	主な研修・臨店指導	対象者	講師・指導者	事業性評価にかかる勉強会	融資課長	地域経済活性化支援機構	事業性評価臨店	支店長、融資課長、 営業課長等	融資部	目利き力強化研修	法人営業担当	外部講師	経営支援ヒアリング（臨店）	支店長、融資課長、 融資担当	ソリューション部
主な研修・臨店指導	対象者	講師・指導者														
事業性評価にかかる勉強会	融資課長	地域経済活性化支援機構														
事業性評価臨店	支店長、融資課長、 営業課長等	融資部														
目利き力強化研修	法人営業担当	外部講師														
経営支援ヒアリング（臨店）	支店長、融資課長、 融資担当	ソリューション部														

銀行名	池田泉州銀行
タイトル	異業種マッチングによる「地域ブランド」の開発に係る取組み
取組み内容	【概要】 新商品開発ニーズを持つ阪神地域の異業種3社(清酒製造業者、味噌製造業者、製麺及び飲食業者)を、当行がマッチングし、酒粕、みそ、ラーメンを組み合わせたコラボレーション商品「摂津味処 三昧つけ麺」を開発。 本つけ麺を応援するため、マスコミを招いた試食会の開催や、当行HPやフェイスブックによる発信、域外販路開拓のサポートを実施。また、イベント等でのノベルティや株主優待制度の商品としても採用し、販路の開拓も実施しました。 プレスリリース 各位 2014年7月7日 ～「池田泉州銀行」による異業種「マッチング」～ 西宮「辰馬本家酒造」 芦屋「六甲味噌」 神戸灘「北海」の三社による完全コラボ商品 「摂津味処 三昧つけ麺」 8月中旬 新発売！ 株式会社 北海 株式会社 辰馬本家酒造 株式会社 六甲味噌製造所 株式会社 池田泉州銀行 株式会社 北海(本社:神戸市灘区 社長:田嶋仁幸)は、兵庫県下の三社企業コラボ商品「摂津味処 三昧つけ麺」を新発売(8月中旬)致します。(8/7月15日メディア関係者体験会開催。) この「摂津味処 三昧つけ麺」は、株式会社 池田泉州銀行による異業種「マッチング」の成果が結実したものであり、清酒「白鹿」等を製造販売する株式会社 辰馬本家酒造(西宮市)の味噌(味噌)と、味噌会社 六甲味噌製造所(芦屋市)の「二十割米純白味噌」で独自に仕立てた特製つけだれを新たに開発。北海が自社製造する全粒粉麺をそれに合わせる、まさに県下摂津の三社がコラボレートする入魂の新商品となっております。 本商品は、県下の量販店を中心に幅広く販売していく予定です。また神戸三宮「難ロード」内の人気店「味噌じゃん」において、7月20日(日)よりイトーインの先行販売(期間限定)も実施いたします。 異業種「マッチング」の成果がここに結実！ ★「白鹿」の吟醸酒粕、「六甲味噌」の二十割米純白味噌、「北海」の自家製 全粒粉麺 兵庫県下の三社が完全コラボしたつけ麺が新登場！  「吟醸酒粕」「二十割米純白味噌」の深い味わい つけだれ ●県下の量販店等で販売予定 本商品のポイントは、「辰馬本家酒造」が製造する入魂の「吟醸酒粕」が生み出す品物ある吟醸酒と、「六甲味噌」のマイルドな二十割米純白味噌が絶妙に合い、味わい深いオリジナル濃厚つけだれ。それに新米全粒粉の香り豊かな平打ち麺とのハーモニーは、コラボ商品ならではの贅沢さに満ちています。 ※ 2食入り ¥600(税別) (製造元)一株式会社 北海 本社:神戸市灘区大石港町2丁目2 TEL:079-561-1556(代) 「摂津味処 三昧つけ麺」商品詳細 ●「摂津味処 三昧つけ麺」完成まで 「池田泉州銀行」による「異業種「マッチング」」 異業種とのコラボニーズを持っていた北海と辰馬本家酒造「白鹿」を、池田泉州銀行が異業種「マッチング」促進。六甲味噌も企画に賛同して、商品プロジェクトがスタートしました。 ●各社の得意分野を結晶させて 伝統があり地元とのかかわりが強い三社が、これまで培ってきた技術力の粋を結集、地産地消をテーマに、地元のお客さまに支持される商品を作ろうと、心をひとつに開発を行いました。 ●完成までは苦戦の連続 会社自慢の個性の強いこだわりの材料を、パランスのいい商品にまよめ上げるのは想像以上の困難でしたが、課題から約2ヵ月、試行錯誤の末、ようやく商品の完成にこぎつきました。 ※池田泉州銀行は、「三昧つけ麺」の製造元ではありません。 ●商品は兵庫県下の量販店等で販売 つけだれはお湯または水で2.5倍に希釈するだけ。麺は熱湯で約1分半(お好みで調整可)茹でれば完成。お手軽に「三昧つけ麺」をご家庭で楽しめます。 ★8月中旬 発売開始！ ・ネット販売 http://www.kusan.com/ ※その他、県内量販店等で発売の予定 ●「味噌じゃん」 santica「難ロード」店 イトーインでの先行販売も決定 2食入りセット発売も決定。7月20日(日)より神戸三宮santicaで話題のラーメン店「難ロード」内の人気店「味噌じゃん」にて、イトーイン販売を実施します。 ★7月20日(日)より期間限定！ ・三宮santica「難ロード」 神戸市中央区三宮町1-10-1 さんから8番街 TEL078-392-3457(代表) ▲「摂津味処 三昧つけ麺」※販売例 ▲三宮santica「難ロード」

銀行名	池田泉州銀行								
タイトル	「空き家・空き地対策」、「定住促進」、「三世代同居・近居」への取組み ～『親元近居住宅ローン』の取扱い～								
取組み内容	【概要】 昭和 40 年代に開発された郊外団地、いわゆる「ニュータウン」では、高齢化が急速に進み、本来、優良なストックであるべき宅地や住宅において、今後、空き地や空き家が増加する傾向にあります。その老朽化した「オールドニュータウン」に対し、「空き家・空き地対策」、「定住促進」、「三世代同居・近居」への取組みとして、兵庫県川西市と「親元近居助成制度」の取扱いを開始。 本制度では、住宅を購入もしくは建設する世帯の親世帯が川西市に居住している場合、川西市が住宅取得に伴う登記費用の一部を助成し、当行が住宅ローン金利の優遇等を行う『親元近居住宅ローン』の取扱いを行うもの。 本制度を通じ、オールドニュータウンの「空き家・空き地対策」、「定住促進」、「三世代同居・近居」を自治体と共に目指している。また、「親元近居」を実現し、孫世代の世話を祖父や祖父母世代が担当し、「子育て支援」へつなげるとともに、将来的に祖父や祖父母に介護が必要となった際に、近隣に居住する子世代、孫世代が介護サポートや見守り支援などを行うことが可能となる。 川西市に続き、下記の市町村で取扱いを開始。 <table border="1"> <tr> <td>平成 25 年 7 月</td><td>川西市における「川西市親元近居助成制度」に合わせ、 『川西市 親元近居住宅ローン』 の取扱開始</td></tr> <tr> <td>平成 26 年 6 月</td><td>豊能町における「豊能町 いっしょに住マイル助成事業」 に合わせ、『豊能町 親元近居住宅ローン』 の取扱開始</td></tr> <tr> <td>平成 27 年 4 月</td><td>泉佐野市が実施する「住宅総合助成事業」及び「三世代同居等支援事業」に合わせて、『泉佐野市転入促進・定住促進住宅ローン』 及び『泉佐野市親元近居住宅ローン』 の取扱開始</td></tr> <tr> <td>平成 27 年 4 月</td><td>岸和田市が若年世代の転入促進を狙いとした「岸和田市三世代同居・近居住宅支援事業」の実施に合わせて、 『岸和田市親元近居住宅ローン』 の取扱開始</td></tr> </table>	平成 25 年 7 月	川西市における「川西市親元近居助成制度」に合わせ、 『川西市 親元近居住宅ローン』 の取扱開始	平成 26 年 6 月	豊能町における「豊能町 いっしょに住マイル助成事業」 に合わせ、『豊能町 親元近居住宅ローン』 の取扱開始	平成 27 年 4 月	泉佐野市が実施する「住宅総合助成事業」及び「三世代同居等支援事業」に合わせて、『泉佐野市転入促進・定住促進住宅ローン』 及び『泉佐野市親元近居住宅ローン』 の取扱開始	平成 27 年 4 月	岸和田市が若年世代の転入促進を狙いとした「岸和田市三世代同居・近居住宅支援事業」の実施に合わせて、 『岸和田市親元近居住宅ローン』 の取扱開始
平成 25 年 7 月	川西市における「川西市親元近居助成制度」に合わせ、 『川西市 親元近居住宅ローン』 の取扱開始								
平成 26 年 6 月	豊能町における「豊能町 いっしょに住マイル助成事業」 に合わせ、『豊能町 親元近居住宅ローン』 の取扱開始								
平成 27 年 4 月	泉佐野市が実施する「住宅総合助成事業」及び「三世代同居等支援事業」に合わせて、『泉佐野市転入促進・定住促進住宅ローン』 及び『泉佐野市親元近居住宅ローン』 の取扱開始								
平成 27 年 4 月	岸和田市が若年世代の転入促進を狙いとした「岸和田市三世代同居・近居住宅支援事業」の実施に合わせて、 『岸和田市親元近居住宅ローン』 の取扱開始								

銀行名	池田泉州銀行
タイトル	三大学（京都大、大阪大、神戸大）シンポジウムの開催
取組み内容	平成 26 年 8 月 8 日、グランフロント大阪ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンターにおいて、「関西が世界を変える 関西から世界を変えよう WE SHALL CHANGE THE WORLD！」をテーマとしたシンポジウムを開催しました。当行は、京都大学、大阪大学、神戸大学の全面的なご協力を得て、平成 22 年 6 月に「関西活性化シンポジウム」、平成 24 年 9 月に「中国蘇州シンポジウム」、平成 25 年 12 月に「ベトナム・ハノイシンポジウム」を開催。 4 回目となる今回は、3 大学、関西を代表する世界トップクラスのグローバル企業と、国立研究機関のそれぞれの代表をお迎えし、基礎研究から産業利用まで幅広い分野において、学術的な視点と産業的な視点を融合させ、関西からわが国の産業競争力を強化していく方策やビジョンに関する「情報発信」「意見交換」の場として開催。企業関係者を中心に約 1,200 名の方々にお越しいただきました。 主催者より当行相談役 服部 盛隆が「『日本を元気に、関西を元気に。』という想いが、産学官の皆様と重なり、開催できました」と挨拶、経済産業省 近畿経済産業局長 関 総一郎氏からは、「関西エリアは産学官の潜在力に優れており、更なる発展を期待します」との来賓祝辞をいただき、開会いたしました。 理化学研究所 計算科学研究機構 機構長 平尾 公彦氏による「スーパーコンピュータが未来を拓く」と題した基調講演があり、その後、パネルディスカッションに入りました。京都大学松本総長、大阪大学平野総長、神戸大学福田学長、ダイキン工業井上会長、サントリーホールディングス鳥井副社長、平尾機構長の 6 名の皆様が、白熱した議論を展開されました。 （本シンポジウムの内容は、9 月 19 日に日本経済新聞大阪本社版記事広告として掲載されました） 

銀行名	池田泉州銀行												
タイトル	若者雇用対策の推進等 ～ 『合同企業説明会』の開催～												
取組み内容	【概要】 地元企業の雇用促進と地域の学生の就職支援を図るため、地元自治体と商工会議所、地元大学等と共同で合同企業説明会を実施しております。 本説明会では、地域の雇用促進の場を提供し、地元企業が望む優れた人材確保のお手伝いと就職を希望する人材をサポートしております。 平成 26 年は、合計 5 回の説明会を実施。延べ 423 社の参加で、うち当行枠からの参加企業が 213 社、当行参加企業での採用人数は合計 48 名となっております。 開催状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>日程/イベント名</th><th>参加企業 (当行枠参加企業/採用数)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 26 年 2 月 『ドリームマッチジョブフェア』</td><td>参加企業 113 社 (うち当行 86 社 採用 13 名)</td></tr> <tr> <td>平成 26 年 7 月 『OSAKA ジョブフェア in ハルカス』</td><td>参加企業 100 社 (うち当行 36 社 採用 10 名)</td></tr> <tr> <td>平成 26 年 8 月 『阪南大学学内合同企業説明会』</td><td>参加企業 78 社 (うち当行 31 社 採用 8 名)</td></tr> <tr> <td>平成 26 年 9 月 『さかい合同企業説明会』</td><td>参加企業 56 社 (うち当行 31 社 採用 6 名)</td></tr> <tr> <td>平成 26 年 9 月 『若者のための合同企業面接会』</td><td>参加企業 76 社 (うち当行 29 社 採用 11 名)</td></tr> </tbody> </table>	日程/イベント名	参加企業 (当行枠参加企業/採用数)	平成 26 年 2 月 『ドリームマッチジョブフェア』	参加企業 113 社 (うち当行 86 社 採用 13 名)	平成 26 年 7 月 『OSAKA ジョブフェア in ハルカス』	参加企業 100 社 (うち当行 36 社 採用 10 名)	平成 26 年 8 月 『阪南大学学内合同企業説明会』	参加企業 78 社 (うち当行 31 社 採用 8 名)	平成 26 年 9 月 『さかい合同企業説明会』	参加企業 56 社 (うち当行 31 社 採用 6 名)	平成 26 年 9 月 『若者のための合同企業面接会』	参加企業 76 社 (うち当行 29 社 採用 11 名)
日程/イベント名	参加企業 (当行枠参加企業/採用数)												
平成 26 年 2 月 『ドリームマッチジョブフェア』	参加企業 113 社 (うち当行 86 社 採用 13 名)												
平成 26 年 7 月 『OSAKA ジョブフェア in ハルカス』	参加企業 100 社 (うち当行 36 社 採用 10 名)												
平成 26 年 8 月 『阪南大学学内合同企業説明会』	参加企業 78 社 (うち当行 31 社 採用 8 名)												
平成 26 年 9 月 『さかい合同企業説明会』	参加企業 56 社 (うち当行 31 社 採用 6 名)												
平成 26 年 9 月 『若者のための合同企業面接会』	参加企業 76 社 (うち当行 29 社 採用 11 名)												

銀行名	池田泉州銀行
タイトル	地域の歴史・町並み・文化・芸術・スポーツ等による地域活性化
取組み内容	【概要】 『百舌鳥・古市古墳群』の世界文化遺産登録に向けた PR 世界文化遺産登録を目指している『百舌鳥・古市古墳群』の PR 支援として、平成 26 年 10 月より、堺市内の店舗に PR のぼりを設置。地域のお客さまの『百舌鳥・古市古墳群』に対する認知度を高めるとともに、世界文化遺産登録推進への気運を盛り上げております。また、今後、本古墳群が『観光コンテンツ』となるよう、地元自治体とともに推進活動を行っております。  

銀行名	紀陽銀行
タイトル	「世界遺産登録応援定期預金～百舌鳥(もず)・古市(ふるいち)古墳群～」の取扱
取組み内容	○ 創立 120 周年を記念した大阪地区における地域社会向け貢献活動の一環として、取り扱いを開始。 ○ 本定期預金を取り扱うことにより、地域の皆様の百舌鳥・古市古墳群に対する認知度を高めていくとともに、世界遺産登録推進への気運を盛り上げていく。 また、お客様の預け入れ総額の 0.01%相当額を当行より堺市世界文化遺産登録推進基金に寄付する商品となっており、お客様の預け入れが世界遺産登録への応援につながるものとなっている。 ○ なお、これまでも世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を応援する「世界遺産定期預金」の取り扱いをおこなっており、総額約 8 百万円を和歌山県世界遺産協議会へ寄付している。

銀行名	広島銀行
タイトル	金融経済教育への取組み（継続実施）
取組み内容	【動機（経緯）】 ・銀行の役割、銀行の３大業務等を理解してもらうため、お金の大切さ、働くことの意義を理解してもらうために実施。 【取組み内容 中学生、高校生向け】 ・経済活動の概要、銀行の役割、お金の大切さについて講義及び、店舗の見学（窓口、貸金庫、ＡＴＭコーナー）ＤＭセンター等の見学を実施。 【取組み効果 中学生、高校生向け】 ・経済、銀行の３大業務などの講義や関連部署の見学により銀行の役割を理解してもらい、高い評価をいただいている。 【取組み内容 小学生向け】 ・夏休みに「キッズマネースクール」を広島エリア、福山エリアを対象に各１回開催。 ・午前は、店舗の見学（窓口、貸金庫、ＡＴＭコーナー）及びＡＴＭの体験等を実施。 ・午後は、外部講師（税理士）による、お金の大切さ、働くことの大切さ、税金の基礎知識について、クイズ形式にて講義を実施。 【取組み効果 小学生向け】 ・夏休みの課題研究の一環として、日ごろ見ることのできない銀行内の見学や体験等を通じて、お金や働くことに対する意識が高まることから、参加者から高い評価いただいている。

銀行名	山口銀行
タイトル	社会貢献への取り組み
取組内容	【取組内容】 1．各種CSR活動の推進 (1) 青少年育成支援 ・平成24年度より、地元の高校生を対象に、金融経済教育を通じた地域貢献活動の一環として、全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」の山口大会開催を開始。平成26年度も第9回大会を11月に開催し、11校50名が参加。 ・平成24年度より、劇団四季（四季株式会社）が演劇を通じて子供たちの健全な育成に資することを目的に行っている大型児童招待事業「こころの劇場」山口公演への協賛を開始。平成26年度も協賛継続し、山口県内4ヶ所5公演、約6,600名の児童が参加。 ・やまぎん史料館を活用し、小学生夏休みセミナーや各種講演会などの開催を通じ、地域の皆様の交流・憩い・学びの場を引続き提供した。 (2) 地域と海外の交流 ・昭和61年から実施している下関市立大学の聴講留学生支援を平成26年度も実施した（中国・タイ・トルコから5名の留学生受入（受入累計151名））。 (3) スポーツ振興支援活動 ・地元最大のスポーツイベントである「下関海響マラソン」に対して、初回大会（H20.11.16）からフルマラソンのゼッケンスポンサーを務め、大会運営に協力。平成26年度は第7回大会が実施され、協賛・運営へ協力。 ・平成23年度に山口県で開催された「山口国体・山口大会」で高まった競技水準を維持・向上させ、スポーツ振興による豊かな社会作りの一助とするため、平成24年度より山口県体育協会への寄付を継続し、平成26年度も実施した。 ・平成19年度より県内女子サッカーの活性化のため、山口県女子サッカー選手権大会を「やまぎんカップ女子サッカー大会」として山口県サッカー協会と共催開始（平成26年度は8月に実施）。また、平成20年度より山口県、広島県、北九州市の女子サッカーチーム代表の交流戦としてYMFGレディースサッカー大会を開始した（平成26年度は2月に実施）。 (4) 文化支援活動 ・平成9年より山口県交響楽団演奏会へ協賛を開始しており、平成19年度からは「やまぎんコンサート」として冠化。平成26年度は12月に開催。 ・平成26年5月に大浮世絵展（山口県立美術館）に特別協賛し、県内の文化振興へ積極的に携わった。 2．環境問題への取組の推進 (1) 森林整備活動 ・平成23年度に取組開始した森林整備活動「未来へつなげよう『やまぎんの森』」に継続取組み。 ・里山林再生事業として植樹活動を実施した下関市内の森林を対象に定期的な整備活動を実施している。 (2) 節電・CO²削減 ・平成25年度同様、クールビズ・ウォームビズ、毎月1回の一斉消灯日・ノーマイカーデーなどを継続実施。 3．積極的な情報発信について ・当行のCSR活動について、ニュースリリース、ディスクロージャー誌やホームページへの掲載など、積極的な情報発信に努めた。 以 上

銀行名	阿波銀行
タイトル	地元徳島の学術や文化振興に貢献します
取り組み内容	徳島県内における優れた学術・文化の振興と発展に貢献することを目的に設立した（公財）阿波銀行学術・文化振興財団を通して、企業や学校等における先進技術の研究開発や、地域文化の発展に結びつく活動に対して助成を行っています。 平成 27 年度までの累計の実績は、学術部門 166 件 9,340 万円、文化部門 355 件 6,442 万円、 合計 521 件 1 億 5,782 万円となっています。 今後も継続して地元徳島の産業・学術・文化の発展、振興に貢献できるよう努めていきます。 

銀行名	阿波銀行
タイトル	地域の活性化に取り組んでいます
取り組み内容	地元徳島県の豊かな農山漁村地域を次世代に引き継いでいこうとの思いから、徳島県と協働パートナー協定を締結し、農山漁村地域における多様なボランティア活動に参加しています。 過疎化が進む地域の方からの依頼のもと、平成26年度は、祖谷地区でのソバやじゃがいもの収穫作業、勝浦「ビッグひなまつり」の準備等を行いました。 また、当行役職員による森林保護を目的とした「あわぎんの森」森づくりボランティア活動のほか、アドプトプログラム吉野川をはじめとした県内河川の清掃活動にも積極的に取り組んでいます。  

銀行名	阿波銀行
タイトル	青少年の金融教育に取り組んでいます
取り組み内容	金融について学び、正しい金銭感覚を身につけてもらうため、徳島県内の小学校で当行職員が教壇に立つ、「あわぎん子ども金融教室」を平成１８年から開催しています。 また、県内の小中学校で、銀行の役割やビジネスマナーに関する出前授業を随時開催しているほか、徳島大学の「起業力養成講座」へも当行職員を講師として派遣しています。 さらに、毎年夏休みには「夏休み親子ふれあい金融機関見学会」を継続的に実施し、金融や銀行について楽しく学べる機会を提供しています。 

銀行名	百十四銀行
タイトル	地域の清掃活動への積極的な参加
取組内容	【動機（経緯）】 ・地域金融機関として地域の環境美化に貢献するため、各地域で開催される清掃活動に積極的に参加している。 【取組み内容】 ・毎年、高松市が主催している海岸沿いや空港、地元商店街などの清掃活動に、開催地近くの営業店職員や本部職員が中心となって参加している。 ・香川県内県外の営業店においても、地元自治会等とともに水路掃除を行ったり、国立公園や寺院の清掃など、地域の環境美化に取り組んでいる。 【取組みの効果】 ・継続的な活動により、職員の環境保全に対する意識の向上に繋がっている。 ・平成27年6月、高松市主催清掃活動への当行の積極的なボランティア参加による環境美化への貢献に対して、高松市より表彰を受けた。

銀行名	百十四銀行
タイトル	金融教育活動
取組み内容	【動機（経緯）】 将来を担う子どもたちにとって、お金の役割や流れ、経済の仕組みを学ぶことは重要であると考え、小・中・高・大学生の段階に応じて金融知力を身につけることができる機会を提供するために様々な金融教育活動を行っている。 【取組み内容】 地元大学法学部特別講義 金融業界について理解を深めていただくため、行員が講師となり、銀行業務について法律との関係を交えながら講義を行っている。 エコノミクス甲子園 高校生を対象にした金融知力を身につけるクイズ大会を、平成20年より毎年開催している。 職場体験学習 各営業店が、地元の中学校などを主たる対象としてさまざまなカリキュラムを企画し、ロビーマネージャーの体験や銀行内の見学、ビジネスマナーについての講習会などを開催している。 親子体験教室 香川県金融広報委員会と連携し、小学生およびその保護者を対象に、銀行の基本的業務や紙幣の偽造防止技術についての話のほか、本店ビル内を見学したり、本物の1億円や1キロの金塊に触れる体験の機会を提供している。 【取組み効果】（上記取組み内容ごとに記載） 就職する前の早い段階から金融業界についての知見を広げる機会として大学側から好評を得ており、金融志望の学生への有用な情報提供となっている。 クイズを通じて楽しみながら金融知力を身につける場として、また、金融に関する興味を持つ入口体験として役立っており、参加者からの評価も高い。 銀行とはどのような仕事をする所か行員の話の聞いたり、実際に銀行内を見学することで、銀行の業務や役割、重要性についての理解が深まったという感想が多く聞かれている。また、生徒たちが将来の職業について考える機会としても役立っている。 参加した子どもたちや保護者から、銀行のお金を「預かる」「貸す」「送る」という仕事や金融について興味を持ったという感想が多く寄せられている。また、本物の1億円や金塊に触れる体験は参加した小学生だけでなく、保護者からも大変好評を得ており、銀行を身近に感じていただけるイベントとなっている。

銀行名	百十四銀行
タイトル	「心の詩」コンサートの開催
取組み内容	【動機（経緯）】 ・お客さまの日頃のご愛顧に感謝し、地域文化に貢献できるよう、創業１１４周年を迎えた平成４年より毎年開催している。 ・地域の皆さまとより多くの「ふれあいの場」を持ち、豊かな地域社会作りに貢献することを目的としている。 【取組み内容】 ・コンサートは、ご応募いただいた方の中から抽選で無料ご招待している。 ・一般の方から寄せられた随想文の朗読と曲を演奏するスタイルのコンサートで、来場されたお客さまにお楽しみいただいている。 ・また、毎回スペシャルゲストをお迎えし、ミニコンサートも開催している。 【取組みの効果】 ・平成２６年で２３回目を迎えたが、早期に募集定員に達するなど、毎年ご好評いただいております、地元のイベントとして定着している。 ・コンサートを楽しみにしていただいているお客さまが多く、「あの随想作品がもう一度聞きたい」「毎年楽しみにしている」などのお声をいただいている。 ・地域の皆さまに銀行をより身近に感じていただく機会となっている。

銀行名	百十四銀行
タイトル	「オリーブマルシェ 2014 in KAGAWA」を開催
取組内容	【動機（経緯）】 ・香川県産のオリーブの魅力と情報を発信するために、香川県、野村證券、香川大学マネジメント研究科と共催で、さまざまなオリーブを楽しむことができるマルシェ型イベントを開催。 【取組み内容】 <開催日>：平成26年11月30日 <開催場所>：丸亀町グリーンけやき広場 <開催内容> ・オリーブを堪能できる1日として、オリーブ関連商品の飲食・販売のほか、オリーブオイルのテイスティング体験などのステージイベントを行った。 ・オイルだけでなく、オリーブハマチ（ ）や野菜など香川県産の食材を使った料理の紹介や試食のほか、展示販売も行った。 （ ）オリーブハマチとは...香川県特産オリーブの“葉”の粉末を添加したエサを20日以上与えた養殖ハマチのことをいいます。オリーブの葉の粉末を添加したエサで養殖されたハマチは、酸化・変色しにくい肉質で、さっぱりとした味わいが特徴です。 【取組みの効果】 ・マルシェ当日は、ご家族連れなど多くのお客さまがご来場され、大いに賑わった。 ・試食イベントは大変喜ばれ、ご参加されたお客さまからは「今度自宅で作ってみようと思う」といった感想が聞かれるなど、多くのお客さまに改めて香川のオリーブの魅力を感じていただけた1日となった。



銀行名	百十四銀行										
タイトル	地域の見守り活動に参加										
取組み内容	【動機（経緯）】 ・ご高齢者等が住みなれた地域で安心して生活することができる環境を整備し、地域福祉の向上に寄与することを目的に各地方公共団体と協定を締結。 【取組み内容】 ・職員が通常業務中に高齢者宅等を訪問した際、高齢者等の日常生活に何らかの異変を察知した場合、速やかに警察等にその状況を連絡する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>協 定 締 結 日</th><th>地 方 公 共 団 体 等</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H 2 5 年 1 1 月 2 2 日</td><td>香川県高松市 高松市民生委員児童委員連盟</td></tr> <tr> <td>H 2 6 年 8 月 1 日</td><td>岡山県総社市</td></tr> <tr> <td>H 2 6 年 9 月 1 日</td><td>香川県観音寺市 観音寺市社会福祉協議会</td></tr> <tr> <td>H 2 7 年 1 月 5 日</td><td>愛媛県今治市役所 高齢介護課 今治警察署等</td></tr> </tbody> </table> 【取組みの効果】 ・これまで特に目立った成果はないが、協定を締結したことで、職員の見守り活動に対する意識が高まっている。 ・引き続きだれもが安心して暮らせる地域づくりに貢献していく。 	協 定 締 結 日	地 方 公 共 団 体 等	H 2 5 年 1 1 月 2 2 日	香川県高松市 高松市民生委員児童委員連盟	H 2 6 年 8 月 1 日	岡山県総社市	H 2 6 年 9 月 1 日	香川県観音寺市 観音寺市社会福祉協議会	H 2 7 年 1 月 5 日	愛媛県今治市役所 高齢介護課 今治警察署等
協 定 締 結 日	地 方 公 共 団 体 等										
H 2 5 年 1 1 月 2 2 日	香川県高松市 高松市民生委員児童委員連盟										
H 2 6 年 8 月 1 日	岡山県総社市										
H 2 6 年 9 月 1 日	香川県観音寺市 観音寺市社会福祉協議会										
H 2 7 年 1 月 5 日	愛媛県今治市役所 高齢介護課 今治警察署等										

銀行名	百十四銀行
タイトル	観光業務従事者・タクシー乗務員を対象とした「おもてなし研修会」の開催
取組み内容	【動機（経緯）】 ・香川県の第一印象を左右する観光業務従事者とタクシー乗務員のおもてなし力を向上させ、来県者の満足度向上を図るために開催。 【取組み内容】 ・香川県、公益社団法人香川県観光協会、わがかがわ観光推進協議会と共同で、平成27年2月～3月にかけて、観光業務従事者向け、タクシー乗務員向けの研修会をそれぞれ開催。 ・研修会では、香川県観光の基礎知識として、香川県の歴史や観光地、四国遍路等についての理解を深めたほか、当行関連会社の研修スタッフによる接客技術研修を行った。 ・タクシー乗務員については、研修会受講後に認定試験を行い、試験合格者は香川県が「香川県おもてなしタクシー」として認定。 ・平成27年3月30日、香川県庁にて、認定試験に合格したタクシー乗務員60社550名に認定証と車両用認定カードが授与された。 【取組みの効果】 ・「これまでタクシー乗務員に対してあまりよい印象はなかったが、認定カードを貼っているタクシーは、気配りができていると感じる」と言った声も聞かれており、研修開催に一定の効果があったと感じている。

銀行名	百十四銀行
タイトル	香川県立盲学校との交流会開催
取組み内容	【動機（経緯）】 ・視覚障がい者の日常生活における合理的配慮について、理解を深め、情報を交換・共有するために開催。 【取組み内容】 <開催日>：平成26年8月28日 <場 所>：香川県立盲学校 <交流会内容> ・交流会は、香川県立盲学校（以下、盲学校という。）の教職員と当行担当者が出席し、盲学校から提出いただいた事前質問に当行担当者が答えるという形式で行った。 ・事前質問は代筆に関するものや、ＡＴＭの操作方法に関するものが多く、当行の対応状況について担当者より説明を行ったのち、視覚障がいを持つ教職員の方に、これらのサービスを実際を利用してみて不便に感じた点や改善したらよいと思う点について、体験談を交えながらお話いただいた。 ・また、インターネットバンキングに関する質問もあり、視覚障がいをお持ちの方にとって利用しやすい画面設計等について積極的な意見交換が行われた。 【取組みの効果】 ・視覚障がい者のニーズや、サービスの有効性について知ることができたうえ、今後のさらなるサービス向上に向けて貴重な意見を聞くことができ、大変有意義な機会であった。 ・ご参加いただいた盲学校の教職員の方からも、「実生活に応じた内容でよかった。今回知り得た内容を生徒に学ばせていきたい。」などの声が聞けるなど、双方ともに大きな収穫が得られた交流会であった。 

銀行名	百十四銀行																		
タイトル	「瀬戸内モニターガールズ」によるモニタリング研修会の開催																		
取組内容	【動機（経緯）】 - 香川県小豆島観光協会から「幅広い世代を小豆島へ誘致し観光産業をより豊かにするために、女性が求めているものを知りたい」との声から、香川県と共同で新たな着地型観光（ ）開発に役立つ情報の調査・提供を行う女性モニターチームの活動を開始。 着地型観光とは、旅行者を受け入れる側の地域（着地）側が、その地域ならではの観光資源を基にした旅行商品や体験プログラムを企画・運営する形態のこと（観光庁より） 【取組み内容】 - 香川県と当行の女性職員が任意に集まり、香川県の産業観光にスポットを当てたモニタリング研修会を通じて、新たな地域の魅力を発見し、広く情報を発信することを目的に活動している。 <table><tr><th></th><th>プロジェクト名</th><th>開催概要</th></tr><tr><td>第1弾</td><td>そうめんにとっぷりはまる！ 小豆島モニタリング研修会 （平成26年 7月19日開催）</td><td>長年に亘り発展してきた小豆島の産業（醤油・素麺等）の更なる認知度向上及び小豆島の魅力を再発見する。</td></tr><tr><td>第2弾</td><td>お成り街道仏生山モニタリング研修会 （平成26年10月25日開催）</td><td>高松藩主の菩提寺・法然寺の門前町として栄えた仏生山地区の産業（酢醸造等）の更なる認知度向上及び新たな観光資源の発掘を行う。</td></tr><tr><td>第3弾</td><td>もっと知りたい小豆島オリーブモニタリング研修会 （平成26年11月29日開催）</td><td>100年の歴史を誇る小豆島オリーブについて、働く主婦が真似したいオリーブレシピの考案及び地元観光資源の新たな魅力を探る。</td></tr><tr><td>第4弾</td><td>善通寺モニタリング研修会 ～しあわせ訪ねて七ヶ所まいり～ （平成27年 2月28日開催）</td><td>弘法大師ご誕生の地である善通寺を中心に隣接する七ヶ所のお寺をまわり、お遍路体験をしながら女性の感性で新たな魅力を探る。</td></tr><tr><td>第5弾</td><td>観音寺モニタリング研修会 ～感動体験観音寺～ （平成27年 5月16日開催）</td><td>遠浅で海流が穏やかな燧灘で育った海産物の調理実習を行う。食や温泉、パワースポットを巡りながら、女性の感性で新たな魅力を探る。</td></tr></table> 【取組みの効果】 - モニタリング結果は観光協会等に伝え、商品開発等の参考にさせていただいている。 - 第1弾研修会開催後には、県内外へ素麺の魅力をPRするために「小豆島のそうめんが100倍食べたくなるガイド」を発刊し、小豆島観光協会等に寄贈したところ、大変好評であった。 - 本活動は新聞等で度々取りあげられたり、他の地域からも「是非来て欲しい」とお声がけいただくなど、地域のみなさまからご評価いただいていると感じている。		プロジェクト名	開催概要	第1弾	そうめんにとっぷりはまる！ 小豆島モニタリング研修会 （平成26年 7月19日開催）	長年に亘り発展してきた小豆島の産業（醤油・素麺等）の更なる認知度向上及び小豆島の魅力を再発見する。	第2弾	お成り街道仏生山モニタリング研修会 （平成26年10月25日開催）	高松藩主の菩提寺・法然寺の門前町として栄えた仏生山地区の産業（酢醸造等）の更なる認知度向上及び新たな観光資源の発掘を行う。	第3弾	もっと知りたい小豆島オリーブモニタリング研修会 （平成26年11月29日開催）	100年の歴史を誇る小豆島オリーブについて、働く主婦が真似したいオリーブレシピの考案及び地元観光資源の新たな魅力を探る。	第4弾	善通寺モニタリング研修会 ～しあわせ訪ねて七ヶ所まいり～ （平成27年 2月28日開催）	弘法大師ご誕生の地である善通寺を中心に隣接する七ヶ所のお寺をまわり、お遍路体験をしながら女性の感性で新たな魅力を探る。	第5弾	観音寺モニタリング研修会 ～感動体験観音寺～ （平成27年 5月16日開催）	遠浅で海流が穏やかな燧灘で育った海産物の調理実習を行う。食や温泉、パワースポットを巡りながら、女性の感性で新たな魅力を探る。
	プロジェクト名	開催概要																	
第1弾	そうめんにとっぷりはまる！ 小豆島モニタリング研修会 （平成26年 7月19日開催）	長年に亘り発展してきた小豆島の産業（醤油・素麺等）の更なる認知度向上及び小豆島の魅力を再発見する。																	
第2弾	お成り街道仏生山モニタリング研修会 （平成26年10月25日開催）	高松藩主の菩提寺・法然寺の門前町として栄えた仏生山地区の産業（酢醸造等）の更なる認知度向上及び新たな観光資源の発掘を行う。																	
第3弾	もっと知りたい小豆島オリーブモニタリング研修会 （平成26年11月29日開催）	100年の歴史を誇る小豆島オリーブについて、働く主婦が真似したいオリーブレシピの考案及び地元観光資源の新たな魅力を探る。																	
第4弾	善通寺モニタリング研修会 ～しあわせ訪ねて七ヶ所まいり～ （平成27年 2月28日開催）	弘法大師ご誕生の地である善通寺を中心に隣接する七ヶ所のお寺をまわり、お遍路体験をしながら女性の感性で新たな魅力を探る。																	
第5弾	観音寺モニタリング研修会 ～感動体験観音寺～ （平成27年 5月16日開催）	遠浅で海流が穏やかな燧灘で育った海産物の調理実習を行う。食や温泉、パワースポットを巡りながら、女性の感性で新たな魅力を探る。																	

